～16　(第2回目のリハーサルは11.29～12.1実施)

52・12・15　東京電力㈱第一原発4号機の燃料初装荷開始。

〃・〃・17　〃　最小臨界達成。

53・1・12　原発基地をかかえる地方公共団体と国が意見交換する第1回原発立地推進懇談会が科学技術庁主催で開催される。

〃・〃・25　県漁連は、東京電力㈱第一原発の使用済核燃料の海上輸送にともなう「福島第一原子力発電所に関する協定書」を東京電力㈱と締結。

〃・1・30　東京電力㈱第一原発1号機の使用済核燃料を動燃東海再処理工場へ輸送（第1回）。

〃・2・24　東京電力㈱第一原発4号機初併入。

〃・〃・28　東京電力㈱第一原発1号機の使用済核燃料を動燃東海再処理工場へ輸送（第2回）。

〃・〃・〃　知事は、定例県議会で次のように答弁。
1号機のノズルのヒビ割れ修理などで定検中GE社の従業員118人が作業に加わり、その際の被ばく線量は平均0.95レム最高2.5レムである。

〃・3・24　東京電力㈱第一原発1号機の使用済核燃料を動燃東海再処理工場へ輸送（第3回）。

〃・〃・〃　東京電力㈱第一原発1号機第5回定期検査を終了し営業運転再開。

〃・4・5　東京電力㈱第一原発2号機第2回定期検査を終了し、営業運転再開。

〃・〃・11　東京電力㈱第一原発6号機建屋内で燃料プール用作業台を移動中、作業台が落下し、作業員骨折。

〃・〃・18　東京電力㈱第一原発5号機営業運転開始。

〃・5・18　県は、原子力発電所安全確保連絡会議で海底沈積物からコバルト－60が最大218ピコキュリー／キログラム、マンガン－54が最大111ピコキュリー／キログラム検出されたことを公表。

〃・〃・29　東京電力㈱第一原発2号機はタービン湿分分離器水位信号誤動作により停止したが、同日運転再開。

〃・6・1　東京電力㈱第一原発3号機第2回定期検査開始。

〃・〃・13～14　東京電力㈱第一原発1号機、2号機及び5号機で送電を停止し、宮城沖地震でこわれた送電線がいし取替。

〃・〃・19　県は51年度温排水調査の結果を影響なしと発表。

〃・〃・22　東京電力㈱第一原発1号機は給水制御用空気圧縮系の除湿装置不調により停止したが、同日運転再開。

〃・8・14　市川定夫助教授（埼玉大）が、東京電力㈱第一原発周辺で観察したムラサキツユクサの花びらの変化は、原発からの放射能の影響が強いと報告。

〃・9・1　東京電力㈱第一原発1号機第6回定期検査開始。

〃・〃・〃　〃　3号機建屋内の復水器水室で作業中、作業員2名が硫化水素によりガス中毒。

〃・10・12　東京電力㈱第一原発4号機営業運転開始。

〃・〃・17　県は原発の温排水を利用する栽培漁業センター建設の基本構想を県議会で発表。

〃・11・1　東京電力㈱第一原発2号機の使用済核燃料を英国再処理工場へ輸送。

〃・〃・21　東京電力㈱第一原発4号機は計装用電源喪失により停止したが、22日運転再開。

〃・12・1　東京電力㈱第一原発2号機第3回定期検査開始。

〃・〃・14　中国で25回目の核実験実施、県内で平常値を上回る放射能検出したが人体には影響なし。

〃・〃・〃　東京電力㈱第一原発で核ジャック防護施設設置工事開始。

〃・〃・19　資源エネルギー庁は、東京電力㈱第一原発1号機の定期検査中、今回取り替え予定の163体の燃料体のうち56体にヒビ割れを発見したと発表。